

「第1回古賀市生涯学習笑顔のつどい」次年度へ向けて（社会教育委員の会議より）

| 課題、問題点など | 方向性 |
|---|--|
| つどいの時間（長さ）について。特に実践報告が17分×3本は長すぎるのではないか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・全体の構成も含めて検討する。 |
| 分館長・分館主事の参加率が低い。研修会としての位置付けを明確に。 | <ul style="list-style-type: none"> ・次年度は当初から研修会としての位置付けを明確にし、分館長及び分館主事の参加をより積極的に働きかける。 ・分館行事と重ならないよう日程調整を行う。 |
| 参加者の年齢層が高く、より若い世代に参加してもらえそうな内容の工夫が必要。 | <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の活動団体に出演してもらう。 |
| 笑顔のつどいの内容を誰もが見ることができ、活用できるように、映像を公開すべきだ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・どのようなかたちでできるか検討する。 |
| 2回目の内容は、全体の構成から再検討した方が、新しい発想が出てくると思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・全体の構成も含めて検討する。 |
| つどいの主催を実行委員会形式にして、市民参加をより進めていくべきだ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員の会議と別に実行委員会を持つことは困難であり、当分は社会教育委員の会議主催で行う。 |
| 社会教育関係団体の研修会などを事前に調査して、つどいと一緒にはできるものがないか検討すべきだ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・どのようなかたちでできるか検討する。 |